

6. 介護支援専門員調査

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

1 勤務などの状況についておたずねします

【問1】 あなたの性別は。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

【問2】 あなたの年齢は。(令和元年6月1日現在) (〇は1つ)

1. 20代
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60歳以上

【問3】 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(〇は1つ)

1. 1年未満
2. 1年～2年未満
3. 2年～3年未満
4. 3年～6年未満
5. 6年以上

【問4】 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所、いきいきセンター・らくおか(地域包括支援センター)は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。(異動などによる同一法人内での勤務地の変更は除きます)

[] か所目

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

令和元年11月
調査主体 福岡市

＜ご記入にあたって＞

1. この調査は、調査票をお送りした居宅介護支援事業所、いきいきセンター・らくおかに所属している介護支援専門員の方に直接記入していただくものです。
2. 回答内容は、「知っている方は全体の何%」「こう思う方は全体の何%」といった形で統計的に整理いたしますので、お答えいただいた方のお名前や個人の回答内容がそのまま公表されることはありません。
3. 記入は鉛筆、ボールペンをお使いください。
4. 回答は、問の順番とおりに進み、当てはまる項目を1つ選んで、その番号を〇で囲んでください。指示があるとき(〇はいくつでも)などはそれに従ってください。
5. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、案内にそってお答えください。
6. 「その他」を選ばれたときは、その内容を [] の中に具体的に記入してください。
7. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**12月6日(金)**までに、郵便ポストに投函してください。

＜ お問い合わせ先 ＞

福岡市保健福祉局高齢社会部 高齢社会政策課
〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1 TEL: 092-711-4595
「高齢社会に関する調査」担当

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問5】あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 医師
2. 歯科医師
3. 薬剤師
4. 保健師
5. 助産師
6. 看護師
7. 准看護師
8. 理学療法士
9. 作業療法士
10. 社会福祉士
11. 介護福祉士
12. 視能訓練士
13. 義肢装具士
14. 歯科衛生士
15. 言語聴覚士
16. あん摩マッサージ指圧師
17. はり師
18. きゆう師
19. 柔道整復師
20. 栄養士 (管理栄養士を含む)
21. 精神保健福祉士
22. その他 []

【問6】 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 常勤・専従
2. 常勤・兼務
3. 非常勤・専従
4. 非常勤・兼務

→ ⇒ 【問6-1】、【問6-2】に進んでください
 ※選択肢の番号が「2」か「4」以外の場合は、
 【問7】に進んでください

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問6で「2」か「4」】と答えた方にうかがいます

【問6-1】どのような業務を兼務していますか。(〇はいくつでも)

1. 管理・事務業務
2. 医療系サービス
3. 介護サービス
4. 相談業務
5. その他 []

【問6で「2」か「4」】と答えた方にうかがいます

【問6-2】1週間のうち、居宅介護支援、介護予防支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

平均 [] 時間

【問7】あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターほか(地域包括支援センター)の法人種別などは何ですか。(〇は1つ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 社団法人・財団法人
4. 営利法人・民間企業 (株式会社、有限会社など)
5. 特定非営利活動法人 (NPO法人)
6. 消費者生活協同組合
7. その他 []

【問8】あなたが所属している居宅介護支援事業所、いきいきセンターほか(地域包括支援センター)には、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

[] 人

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

2 ケアマネジメントについておたずねします

以下の設問(【問9】～【問14-2】)は、令和元年6月の状況についてお答えください

【問9】あなたが給付管理を行ったケース(利用者が6月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース)は何件ですか。

() 件

【問10】市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。(○は1つあればその件数も記入してください)

1. ある () 件 ⇒【問10-1】に進んでください
 2. ない ⇒【問11】に進んでください

【問10-1】と答えた方にかがいます

【問10-1】そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲んでください。(○はいくつでも)

1. 緊急通報システム
2. 声の訪問
3. おむつサービス
4. 寝具洗濯乾燥消毒サービス
5. 移送サービス
6. あんしんジョーティストレイ
7. 認知症の人の見守りネットワーク (登録制度、捜してメール、検索システム)
8. ふれあいサロン
9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス ⇒
10. その他 ()

⇒【問10-2】に進んでください

※選択肢の番号が「9」以外の場合は、
【問10-3】に進んでください

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問10-1】と答えた方にかがいます

【問10-2】ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。(○はいくつでも)

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け (付添、介助、送迎など)
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他 ()

【問10-3】と答えた方にかがいます

【問10-3】現在不足しており、今後充実が必要と思うサービスは何ですか。(○はいくつでも)

1. 緊急通報システム
2. 声の訪問
3. おむつサービス
4. 寝具洗濯乾燥消毒サービス
5. 移送サービス
6. あんしんジョーティストレイ
7. 認知症の人の見守りネットワーク (登録制度、捜してメール、検索システム)
8. ふれあいサロン
9. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス ⇒
10. その他 ()

⇒【問10-4】に進んでください

※選択肢の番号が「9」以外の場合は、
【問11】に進んでください

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問10-3】で「9」と答えた方にかがいます

【問10-4】今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。

(〇は3つまで)

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け (付添、介助、送迎など)
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他 []

ここから再びすべての方にかがいます

【問11】介護サービス受給者の場合、どういった「見守り」サービスが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 近隣住民の見守り
2. 緊急通報システム
3. 声の訪問
4. 民間の見守りサービス (警備会社、携帯電話など)
5. 民生委員による見守り
6. 特に必要がない

【問12】どういった「見守り」サービスを今後充実させるとよいと思いますか。(〇は2つまで)

1. 近隣住民の訪問による見守り
2. 近隣住民が外から様子を伺うさりげない見守り
3. 訪問員が訪問する見守り
4. 電話やメールのやり取りを行う見守り
5. ごみ収集や宅配など他のサービスを利用しての見守り
6. その他 []

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問13】認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。(〇は2つまで)

1. 認知症についての相談窓口
2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関 (かかりつけ医)
3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
4. 認知症の方が緊急時に入院や入所が可能な病院・施設
5. 認知症の方を地域で見守る仕組みや居場所
6. 認知症の方の家族に対する支援
7. その他 []

【問14】在宅での生活が困難なケースはありますか。(〇は1つ)あればその件数も記入してください。

1. ある [] 件 ⇒【問14-1】、【問14-2】に進んでください
2. ない ⇒【問15】に進んでください

【問14-1】で「1」と答えた方にかがいます

【問14-1】具体的などのようなケースですか。該当するものの番号を〇で囲んでください。(〇はいくつでも) また、そのケースの件数も記入してください。

番号	具体的なケース	件数
1	認知症があり、BPSD (行動・心理症状) がある	件
2	食事や排せつなどのADL悪化により、一人での生活が難しくなった	件
3	在宅サービスのリハビリだけでは時間や回数が足りず、施設入所してさらにリハビリを受ける必要がある	件
4	日中、介護する家族等がいないなど、家族の介護が不十分である	件
5	家族の介護放棄・虐待など家庭環境に問題がある	件
6	家族に介護疲れが生じている	件
7	その他 []	件

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問14で「1」と答えた方にかがいます

【問14-2】どのような支援(サービス)があれば、在宅での生活を続けられると思いますか。ご自由にお書きください。(自由記載)

[]

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問16】これまでの方にかがいます

【問16】これまで定期的に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがありますか。(〇は1つ)
あればその件数もご記入ください。

1. ある () 件 → 【問17】に進んでください
2. ない → 【問16-1】に進んでください

【問16-1】これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 利用が適切と思われる対象者が分らないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所の存在自体を知らなかったため
7. その他 ()

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問15で「2」と答えた方にかがいます

【問15】これまで小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがありますか。(〇は1つ)
あればその件数もご記入ください。

[]

【問15-1】これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 利用が適切と思われる対象者が分らないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため
7. その他 ()

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

ここから再びすべての方にかがいます

【問17】介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	事業所の質が悪い	高いサービスの利用が難しい	サービスの利用が難しい	サービスの利用が難しい	サービスの利用が難しい	サービスの利用が難しい	その他の内容
【記入例】 訪問介護	1	2	3	4	5		
1 訪問介護	1	2	3	4	5		
2 (介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5		
3 (介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5		
4 (介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5		
5 (地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5		
6 (介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5		
7 (介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5		
8 (介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5		
9 (介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5		
10 (介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5		
11 (介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5		
12 住宅改修	1	2	3	4	5		
13 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5		
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5		
15 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5		
16 (介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5		
17 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5		
18 介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5		
19 介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5		
20 生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5		
21 生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5		
22 その他の介護(予防)サービス	1	2	3	4	5		

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問18】介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に必ずしも必要ではないが、計画に組み込んでいるサービス(過剰サービス)があれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	介護支援専門員がサービスに必要とは思っていないが、サービスに必要とは思っている	サービスに必要とは思っていないが、サービスに必要とは思っている	サービスに必要とは思っていないが、サービスに必要とは思っている	サービスに必要とは思っていないが、サービスに必要とは思っている	サービスに必要とは思っていないが、サービスに必要とは思っている	サービスに必要とは思っていないが、サービスに必要とは思っている	その他の内容
【記入例】 訪問介護	1	2	3	4	5		
1 訪問介護	1	2	3	4	5		
2 (介護予防) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5		
3 (介護予防) 訪問看護	1	2	3	4	5		
4 (介護予防) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5		
5 (地域密着型) 通所介護	1	2	3	4	5		
6 (介護予防) 通所リハビリテーション	1	2	3	4	5		
7 (介護予防) 福祉用具貸与	1	2	3	4	5		
8 (介護予防) 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5		
9 (介護予防) 短期入所生活介護	1	2	3	4	5		
10 (介護予防) 短期入所療養介護	1	2	3	4	5		
11 (介護予防) 特定福祉用具販売	1	2	3	4	5		
12 住宅改修	1	2	3	4	5		
13 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5		
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3	4	5		
15 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5		
16 (介護予防) 認知症対応型通所介護	1	2	3	4	5		
17 看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4	5		
18 介護予防型訪問サービス	1	2	3	4	5		
19 介護予防型通所サービス	1	2	3	4	5		
20 生活支援型訪問サービス	1	2	3	4	5		
21 生活支援型通所サービス	1	2	3	4	5		
22 その他の介護(予防)サービス	1	2	3	4	5		

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問19】介護支援専門員としてケアプランを作成するに当たり、全体的に不足していると思うサービスがあれば、その理由について、該当するものに○をつけてください。(○はいくつでも)

	近き必要となるサービスが提供されていない	必要となるサービスが提供されていない	事業所間で提供できない	事業所間で提供できる	利用者の希望	介護サービスの希望	家族がサービスを利用できない	介護サービスを利用できない	利用者が利用できない	※その他(認知症入居など)	その他の内容
	1	2	3	4	5	6					
【記入例】訪問介護											
1 訪問介護	○										
2 (介護予防)訪問入浴介護											
3 (介護予防)訪問看護											
4 (介護予防)訪問リハビリテーション											
5 (地域密着型)通所介護											
6 (介護予防)通所リハビリテーション											
7 (介護予防)福祉用具貸与											
8 (介護予防)居宅療養管理指導											
9 (介護予防)短期入所生活介護											
10 (介護予防)短期入所療養介護											
11 (介護予防)特定福祉用具販売											
12 住宅改修											
13 (介護予防)小規模多機能型居宅介護											
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護											
15 夜間対応型訪問介護											
16 (介護予防)認知症対応型通所介護											
17 看護小規模多機能型居宅介護											
18 介護予防型訪問サービス											
19 介護予防型通所サービス											
20 生活支援型訪問サービス											
21 生活支援型通所サービス											
22 その他の介護(予防)サービス ()											

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問20】サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. サービス提供事業所のパンフレットなどの収集
2. サービス提供事業所のホームページの閲覧
3. 地域単位の事業者情報誌などを閲覧
4. 市のホームページを閲覧
5. 介護サービス情報公表システムを閲覧
6. 事業者協議会に参加
7. 区の介護支援専門員の連絡会などに参加
8. 電話・面談などで直接、事業所に問い合わせ
9. その他 ()
10. 特に行っていない

【問21】ケアプランの作成に当たり、医療機関などからの情報収集などはどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. 主治医見書や区役所から入手
2. 主治医連絡票などを利用して問い合わせ
3. 主治医へ電話・面談などで直接問い合わせ
4. ケアノート
5. その他 ()
6. 特に行っていない

【問22】本人の残存能力の維持・向上につながる支援ができたと思うケアプランを、これまでどの程度作成できたと考えますか。(○は1つ)

1. 1割以下
2. 1～2割程度
3. 3～4割程度
4. 5～6割程度
5. 7～8割程度
6. 9割以上

⇒【問22-1】に進んでください

⇒【問23】に進んでください

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問22で「1」か「2」と答えた方にうかがいます

【問22-1】そのように考える理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 対象者自身が、求めている支援以外は受け入れれない。または積極的に受け入れれない
2. 家族が必要と思うサービスのみを強く要望され、介護支援専門員の意見は求めない(受け入れれない)
3. 「残存能力の維持向上につながる支援」について、介護支援専門員自身の知識または認識が不足している
4. プランが「残存能力の維持向上につながっているのか」の判断ができない、あるいは自信が持てない
5. 「残存能力の維持向上につながる」支援について相談できる人がいない
6. 「残存能力の維持向上につながる」サービスや地域情報について把握が不十分である
7. 対象者の生活圏域に介護サービス以外に利用できるインプフォームサルサービスが不足している
8. その他 []

ここから再びすべての方にうかがいます

【問23】ケアプランを作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、主に誰に相談していますか。(〇は1つ)

1. 同一法人の介護支援専門員
2. 他法人の介護支援専門員
3. 区の介護支援専門員の連絡会など
4. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
5. 区役所
6. 福岡市保健福祉局
7. 福岡県保健医療介護部
8. 国民健康保険医協会連合会
9. その他 []
10. 相談できる相手がいない

- 14 -

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

【問24】どのようなことを相談していますか。(〇はいくつでも)

1. 多方面に問題を抱えている事例への対応に関すること
2. 利用者・家族間の意見調整に関すること
3. サービスの適否判断
4. 「3. サービスの適否判断」以外の介護支援専門員業務に関すること
5. 介護保険外のサービス利用に関すること
6. 介護報酬請求事務に関すること
7. その他 []
8. 特に相談することはない

【問25】ケアプランを作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記の項目から上位3つを選択し、その番号を記入してください。

- 1位 []
- 2位 []
- 3位 []

1. 自立支援の視点
2. 本人の希望
3. 本人の残存能力
4. 課題分析の結果
5. 家族の希望
6. 主治医の意見
7. 事業所の意向
8. その他 []

【問26】あなたは利用者に対して、どのような基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(〇は2つまで)

1. 利用者の自宅から近いかどうか
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか
3. 本人の残存能力を引き出せるようなサービスの質が高い事業所であるかどうか
4. 介護支援専門員からみて、サービスの質が高い事業所であるかどうか
5. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか
6. 利用者・家族が知っている、または希望する事業所であるかどうか
7. その他 []

- 15 -

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

3 他機関との連携についておたずねします

【問27】主治医との連絡・報告を行っていますか。(〇はいくつでも)
 1. ケアプランの新規作成及び変更時に行っている } ⇒【問27-1】に進んでください
 2. 利用者の病氣など緊急時に行っている }
 3. 上記の1・2以外に、定期的に行っている }
 4. 行っていないことが多い } ⇒【問27-2】に進んでください

問27で「1」～「3」と答えた方にかがいます

【問27-1】主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(〇はいくつでも)
 1. 連絡する時間帯の判断に迷う
 2. 連絡方法 (電話、メール、面談など) の判断に迷う
 3. 知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある
 4. その他 []
 5. 苦慮していない
 ※【問28】に進んでください

問27で「4」と答えた方にかがいます

【問27-2】主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)
 1. 連絡する時間がない
 2. 主治医に時間をとってもらえない
 3. 医師とコミュニケーションを図ることに自信が持てない
 4. その他 []
 5. 必要がない

ここから再びすべての方にかがいます

【問28】個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(〇は1つ)
 1. ある } ⇒【問28-1】に進んでください
 2. ない } ⇒【問29】に進んでください

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

問28で「1」と答えた方にかがいます

【問28-1】参加した後、業務の円滑化に役立ちましたか。(〇は1つ)
 1. 専門職間の連携が進んだ
 2. 医療機関との連携が進んだ
 3. 利用者の納得を得やすくなった
 4. 利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった
 5. わからない
 6. 特に役に立たなかった

4 処遇困難事例などへの対応についておたずねします

ここから再びすべての方にかがいます

【問29】処遇困難事例に対応する必要がある場合、区役所またはいきいきセンターへおたずね (地域包括支援センター) に相談していますか。(〇は1つ)
 1. よく相談している } ⇒【問29-1】に進んでください
 2. ときどき相談している }
 3. 相談していない } ⇒【問30】に進んでください

問29で「1」か「2」と答えた方にかがいます

【問29-1】どのような場合にどのようなことを相談していますか。ご自由にお書きください。(自由記帳)

[]

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

ここから再びすべての方にかかっています

【問30】給付管理を行っている方のうち、成年後見制度の利用が必要だと思われる場合、どの相談窓口（誰）に相談していますか。（〇はいくつでも）

1. 福岡県弁護士会 高齢者・障害者総合支援センターあいやう
2. 成年後見センター・リーガルサポートセンターふくおか
3. 権利擁護センターばあとなあ福岡
4. 法テラス福岡（日本司法支援センター）
5. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）
6. 区役所
7. 九州北部税理士会 成年後見センター
8. コスモスふくおか（コスモス成年後見サポートセンター福岡県支部）
9. NPOなど上記1～8以外の相談窓口
10. 知っている弁護士
11. 知っている司法書士
12. 知っている社会福祉士
13. 知っている税理士
14. 知っている行政書士
15. その他（ ）

福岡市 高齢社会に関する調査（介護支援専門員調査）

【問31】次の表は、成年後見制度の利用が必要と考えられる方の状態の例です。現在（回答時点、給付管理を行っている方）のうち、次の表の状態の例に該当する人数を、今後、成年後見制度の利用が必要になると思われる時期別に記入してください。

- ※1：対象者1人につき2つ以上の状態に該当する場合は、最もあてはまると考える状態にカウントしてください。
- ※2：現在、成年後見制度を申立て中、または利用等で課題が解決している方は、カウントしないでください。
- ※3：それぞれの状態に該当する方で、把握している現状において、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方の人数を、各記入欄の下段に内数として記入してください。

	成年後見制度の利用が必要と考えられる状態	制度利用が必要になると思われる時期		
		1年以内	1～3年程度	わからぬ
1	本人の判断能力が不十分であるため、治療や介護・福祉サービスの必要性や契約を理解できない、拒否があるなど支障が通じない 上記状態に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人
2	本人の判断能力が不十分であるため、以下のような金銭や財産の管理に発生している。 ・商品や株券購入するなど、収入に見合った適切な支出ができない ・預貯金の管理・解約ができない ・保険金の受け取りができない ・税や保険料、利用料などを現に滞納、または負債があるが、適切に返済等の対応ができていない ・土地や建物、有価証券等の資産の管理が適切でない 上記状態に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人
3	本人の判断能力が不十分であるため、預金や年金を取り上げられるなど経済的虐待や金銭搾取、その他の虐待（身体的・知的・心理的・ネグレクト等）を受けている、またはその疑いがある	人	人	人
4	上記状態に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方 本人の判断能力が不十分であるため、不動産の処分や遺産分割協議、国庫・訴訟手続などの法律行為を行えない、消費者被害や悪徳業者につまみこわれている、またはその疑いがある。	人	人	人
5	上記状態に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方 本人の判断能力が不十分であるため、その他困難な事情があるが、適切に対応できていない 上記状態に該当する方のうち、本人や親族による制度利用の手続きが非常に困難と思われる方	人	人	人

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

5 行政の役割についておたずねします

【問32】介護の現場で抱えている課題や、今後、行政に期待する役割は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 相談機能の充実
2. AIなどの先進的技術の推進
3. 介護ロボット、福祉用具などの介護の身体的負担を軽減する機器等の普及
4. 介護人材の確保に向けた取り組みの充実
5. 研修機能の充実
6. サービス基盤の整備
7. 情報提供の充実
8. その他 ()

⇒【問32-1】に進んでください

福岡市 高齢社会に関する調査 (介護支援専門員調査)

18. 看護小規模多機能型居宅介護
19. (介護予防) 特定施設入居者生活介護
20. 介護老人福祉施設
21. 介護老人保健施設
22. 介護療養型医療施設
23. 介護医療院
24. 介護予防型訪問サービス
25. 介護予防型通所サービス
26. 生活支援型訪問サービス
27. 生活支援型通所サービス
28. その他 ()

～ 長時間ご協力いただき、本当にありがとうございました ～

【問32で「6」と答えた方にかかっています

【問32-1】特に応じたサービス基盤を整備する必要がある(需要に対して不足している)と思いませんか。(〇はいくつでも)

1. 訪問介護
2. (介護予防) 訪問入浴介護
3. (介護予防) 訪問看護
4. (介護予防) 訪問リハビリテーション
5. (地域密着型) 通所介護
6. (介護予防) 通所リハビリテーション
7. (介護予防) 福祉用具貸与
8. (介護予防) 居宅療養管理指導
9. (介護予防) 短期入所生活介護
10. (介護予防) 短期入所療養介護
11. (介護予防) 特定福祉用具販売
12. 住宅改修
13. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護
14. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
15. 夜間対応型訪問介護
16. (介護予防) 認知症対応型通所介護
17. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護

令和元年度福岡市高齢者実態調査

令和2年3月

発 行 福岡市
企 画 福岡市 保健福祉局 高齢社会部 高齢社会政策課
〒810-8620 福岡市中央区天神1丁目8番1号
電 話 (092) 711-4595
F A X (092) 733-5587

編 集 株式会社東京商工リサーチ 福岡支社
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4丁目9番2号
八百治センタービル4F
電 話 (092) 431-2131
